



らくびお 楽Bio通信

2022年
7月号

NS乳酸菌革命記

腸内菌に善玉菌と悪玉菌のあることは、皆さんもよく知っています。人間に有益な働きをするものを善玉菌と呼び、その代表的なものが乳酸菌やビフィズス菌です。ですが、私はいくつかの呼び方をあまりしたくありません。なぜなら人間の世界で、よい人間と悪い人間が簡単に区別できないのと同じで、よい菌と悪い菌も簡単に区別できないからです。

たとえば、善悪どちらでも区別できない日和見菌はときと場合によって、宿主によっても働き、悪くも働く。そういう性質の菌のことです。全体の腸内菌構成では、日和見菌が一番多いのです。ですから、日和見菌も粗末にすることはできません。

大腸菌などは日和見菌です。よく「大腸菌が検出された！」と大騒ぎになり、大腸菌が感染症の目のかたきにされますが、ほとんどの大腸菌は日和見菌であり、それ自体が悪さをすることはないので、むしろ、ビタミンを合成したり、食物繊維を分解する酵素を出してくれるのは大腸菌がいるおかげです。もしも大腸菌がいなければ、ビタミンは吸収されずに体内で不足したり、野菜を食

べても分解されずに、便となってそのまま出るようになります。

腸内菌がどんな割合で生息しているかは、一概にいえません。腸でも胃に近い方と肛門に近い方で、栄養成分や食べたものの状態、腸内酸素およびpH（pH）の状況などによって棲息環境が変わり、菌構成も違ってくるからです。

腸内菌叢は、菌の種類と数では、世界で一番生物多様性のあるところ。数としては、ここには数百兆個ぐらゐの細菌をのせられます。その種類は、棲んでいる環境にもよりますが、数百から数千種類もあります。

人間と共生している菌としては、ほとんどが善玉菌と日和見菌と悪玉菌と思えば正しいでしょう。以前の、善玉菌三割、日和見菌六割、悪玉菌一割という説は、現在の研究では間違った比率ということがわかりました。腸内の数千種類の細菌の中で、悪玉菌と思われる菌はわずか十数種類です。それ以外の菌は、人間の身体についている理由と意味があるのです。

善玉菌がどんな役割をするかは、前項で書いた通りです。そこで、ここでは乳酸菌の種類について概略を述べておきます。

ビフィズス菌というのは、よく聞

く名前だと思えます。乳酸菌の仲間の一つで、赤ちゃんの腸内に多く生息し、整腸作用があることで知られています。乳酸菌の代表格でもあり、ヨーグルトによく含まれています。

人間に民族があるように、乳酸菌には菌属とか菌種というものがあります。ビフィズス菌は、ビフィドバクテリウム属の菌です。ほかにラクトバチルス、カゼイ、アシドフィルス、ヘルベティクス、ストレプトコッカス、サーモフィルスなどなど。それこそ数えきれないほどあるので、ここでは細かい名前を覚えなくてもよいでしょう。

ただ、同じ種類の乳酸菌といっても、形、大きさ、性質の違いがあり、それは効能に影響しているのです。そのあたりのことには、少し注意を払ってください。

形でいえば、乳酸菌は「球菌」と「桿菌」に大別されます。「コッカス」とは球菌のことです。球菌にも「単球菌」「双球菌」「連鎖球菌」「ブドウ球菌」などの違いがあります。

桿菌とは棒状の菌の総称。「バチルス」とは桿菌のことです。棒は棒でも短い棒状の「短桿菌」、長い「長桿菌」の別があります。

こつした形や大きさ、性質によって、乳酸菌の効果効能が違ってきます。また、乳酸菌も生き物であるか

ざりは、宿主との相性というものがあつたからと、別の人が試みても同じ効果が得られないこともありえます。

善玉菌は腸内で役立つだけではありません。身体の表面をはじめとするあらゆる場所に棲息して、いろいろな働きをしてくれています。

最近よく「植物性乳酸菌」という言葉を聞きます。漬物から菌を見つけたことから、そう、呼んでいるようです。「植物性だから安心です」と。でも菌ですから、漬物だけに取っついてはいるわけではありません。同じ菌が、ほかの場所から見つかることもあります。

漬物から見つかった菌が、チーズから見つかることもあります。もし最初にチーズから見つかったら「植物性です」とはいえないでしょう。何をエサにするかで植物性、動物性と分けるのは無理があります。また、宿主への寄生には何の関係もない話です。「植物性」と強調する意味が、私にはわかりません。あまりこだわらない方がよいと思います。

「NS乳酸菌が病気を防ぐ」よりの抜粋



お客様の声
ページ→

※個人の感想であり、効果効能を示すものではありません。

「大草原の乳酸菌」 お客様の声

夜、寝る前に NS-Maxと NS-Slimを2粒ずつ。
合計6袋。すぐに交果が出ないけれど、
続けていると、便秘しにくくなり、眼りの質が
よくなってきた気がする。

50代・女性・群馬県在住.jpg

子供の便秘が解消し、夫の下痢臭い味も改善され
ました。二人とも、これほど色んな改善を試してみましたが
交果があらわれず、一度に二人とも交果がでて
本当にありがたく思いました。
腸内環境が整ったのと実感しました。

40代・女性・熊本県在住

第13回バイオレゾナンス医学会 全国大会
**生命力を高める
プラズマ療法**
～罹病から美容まで～

2022
7/24(日)

会場：0180-0001-7782029
料：15,000円 (昼食費5,000円)
4,000円 (昼食費5,000円)
7/24(日) AM7:00～12:00

申込ありたい方への豪華特典

- 1. 会場当日の昼食代
- 2. 会場当日のドリンク代
- 3. 会場当日の交通費
- 4. 会場当日の宿泊費
- 5. 会場当日の食事代
- 6. 会場当日の飲み代
- 7. 会場当日の会場費
- 8. 会場当日の会場代
- 9. 会場当日の会場代
- 10. 会場当日の会場代

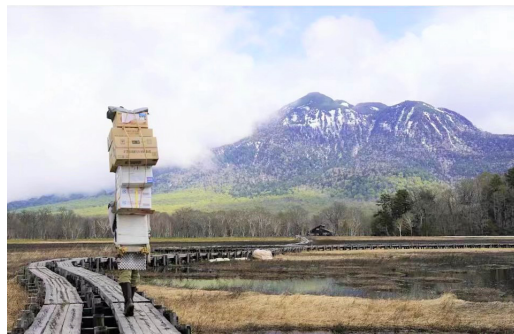
主催・お問い合わせ先
バイオレゾナンス医学会
〒300-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 0120-02-9984

お知らせ



「TV ホスピタル」(2022年6月)
大草原の乳酸菌が掲載されました

メディア掲載



尾瀬ヶ原(群馬県)で山荘に物資を
運ぶ歩荷(ぼっか)さん。(撮影:任宇紅)

お申し込みはコチラから

↓

毎年恒例の『第13回バイオレゾナンス医学会全国大会』が7月24日にオンライン配信で開催されます。テーマは「生命力を高めるプラズマ療法」難病から美容まで」です。

「老化の原因である活性酸素を作らずに生命活動エネルギー(ATP)を得る画期的な「プラズマ療法」

歳をとるとはDNAの損傷の割合です。その損傷がどんどん進んで活動が取れなくなって死を迎えるのが人間の一生です。しかし人間は本来ならば130歳まで生きることが出来る生命体です。五つの病因を取り除きながら、DNAの修復を促し、あなたのもつ本来の健康と美しさを取り戻す。そんな画期的な「プラズマ療法」についてミラクルとも言える症例を交えてお伝えしたいと思います。ぜひ一緒に勉強しましょう。

(バイオレゾナンス医学会より)

**しゃがあの
日蒙文化交流支援**

ラクアが支援している
日蒙文化交流活動です。
賛助会員を募集しております。

**バンベンの
砂漠緑化支援**

ラクアが支援している
モンゴル地方の
植林活動です。

**NS乳酸菌で
良質な堆肥づくり**

岐阜県高山市で NS 乳酸菌を活用した特別な堆肥づくりが行われています。ラクアでは(株)スピリットが推進する持続可能な社会的農業を応援しています。

**笑顔プロジェクトで
子ども食堂支援**

笑顔の自画像イラストを作成することで、作成費用の一部が「子ども食堂食材支援」に使用されます。ぜひ笑顔プロジェクトにご参加ください。

■ 電話でのご注文・お問い合わせ
フリーダイヤル
0120-098-529
※受付時間/9:00~21:00 (土日祝日も承ります)

■ ホームページでのご注文・お問い合わせ
大草原の乳酸菌

大草原の乳酸菌

楽Bio通信